

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	小樽市家庭教育支援チーム (呼称:小樽わくわく共育ネットワーク) URL: https://www.facebook.com/otaruwakuwaku
活動開始年度	平成 27 年度
活動拠点	小樽市生涯学習プラザ(レピオ)
活動範囲	小樽市内全域
活動財源	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ※下記に詳細を記載してください。 ()
組織体制	<u>21</u> 人 子育てサポーター10 人、保育士1人、保健師1人、教職員1人、家庭教育支援員1人、家庭教育コーディネーター2人、家庭教育コーディネーター兼地域コーディネーター1人、生涯学習推進アドバイザー1人、生涯学習課職員3人
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() ・家庭教育講座の開催 母親を対象に家庭教育やストレスケア等の講座を年10回実施し、保護者同士の学び合いの場として、家庭教育ナビゲーターによる家庭教育「学びカフェ」の時間を設定。 ・子育て中の親の居場所作り 生涯学習プラザにすれば、何か得られる。ほっとする場を目指して。 自由に使えるキッズスペース ・わくわく共育フェスティバル ・親子体験講座 わくわく教育フェスティバル以外にも、年間を通して自然に楽しむことや工作等の活動をする親子体験講座を年10回実施。

	
活動の成果	<p>・年間を通した活動を実施することにより、家庭教育の情報交流が盛んに行われた結果、参加者の悩みを反映し、家庭教育ナビゲーターが中心となり、不登校に関する子育て相談および居場所作りの機会を作り出すことができた。</p>
活動において苦勞した点や課題	<p>・より幅広い保護者や子どもに参加してもらえるよう、周知の方法を工夫する必要がある。学校や地域との連携を深め、多くの場面で交流することが出来、講座の紹介などが緊密に行える関係の構築に努める。</p>
今後の活動目標	<p>・小樽のすべての子どもたちが、健康で生き生きと自分らしく学びながら、親子で家族の絆を深め、ともに成長できるよう努める。</p>
問合せ先	<p>(代表者氏名)生涯学習アドバイザー 田口 智子 (住所)小樽市富岡1-5-1(小樽市生涯学習プラザ:レピオ) (TEL)0134-24-3363 (E-mail) syogai-gakusyuka@city.otaru.lg.jp</p>